

次世代 HERO

Next Generation's Hero

東京2025デフリンピック
男子400mハードル 日本代表

岡山大学 3年

石本 龍一郎 さん

「応援してくれる地元・下関の皆さんへ
恩返しできるよう、メダル目指して
精一杯頑張ります！」



▲8月4日(月)に来関した東京2025デフリンピックキャラバンカー

東京2025デフリンピック 情報

【期間】11月15～26日

【場所】駒沢オリンピック公園総合運動場ほか

▶大会ポータルサイト



デフリンピックは、聴覚障害のある選手による国際スポーツ大会。スタート等の合図は、音でなく、光で行われます。聴覚障害はパラリンピックの対象外のため、4年に一度のこの大会が最大の舞台です。

岡山大学3年の石本龍一郎さんは、下関出身。生まれつきの難聴で、聴覚支援機器を使って生活しています。中学で陸上を始め、健常者と同じ大会に出場。下関西高等学校在学時は中国高

校総体で力を出し切れず敗退、大学でも怪我が続き、陸上をやめようと思ったこともあったとか。そんなとき、ろう学校時代の友人に教えられたのが「デフリンピック」の存在でした。

大きな目標を見つけたことで気持ちを切り替え、努力を重ね、令和6年のデフ陸上日本選手権で大会新記録を出して優勝。今年5月の代表選考会も制し、日本初開催となる東京2025デフリンピックへの出場を勝ち取りました。



にぎわい戻る 市民の台所

～新鮮活魚 唐戸朝市～



市長コラム
希望の風
市長の部屋

市民の皆さんに、地元の新鮮な魚の魅力をもっと意識していただき、おいしく食べてもらえるよう、秋には「魚食普及条例」の制定を検討しています。

皆さん、市民の台所・唐戸市場と、水産のまち・下関を、一緒に盛り上げていきましょう。

こんにちは！ 前田晋太郎です。

皆さんは唐戸市場に行ったことはありますか？ 唐戸市場は、全国の観光施設ランキングでも常に上位に入る、人気の観光地です。一方で、市民の台所として、水産物の流通において大切な地方卸売市場でもあります。

しかし、地域の食を支える市場としてみると、今では市民の日常的な利用が減り、にぎわいが失われつつあります。

そこで、唐戸市場の魅力を市民の皆さんに再認識していただき、地元の水産物を身近に感じてもらうために、6月初旬に「新鮮活魚 唐戸朝市」と題して、朝市イベントを開催！ 32店舗が参加され、平日の8日間でなんと来場者が1万人を超える大盛況となりました。

私は初日に参加しましたが、角島沖で獲れたクロマガゴの新鮮・激安のお刺身ブロッコをはじめ、魚介類から野菜まで、つい財布のひもが緩んでしまうほど魅力ある品物がたくさんそろっており、改めて「下関市の水産つて素晴らしい！」と、誇らしい気持ちになりました。